

1 教科研修1（9月25日）で使用する学習指導案について

（1）内容について

- ・学習指導案（細案）を作成してください。
- ・50分の学習指導案を作成しますが、模擬授業では1単位時間から20分を抜粋して授業を行います。模擬授業を行う部分を太枠で囲んでください。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、単元や授業を構想してください。

（2）様式について ※新しい様式になっています。

【高等学校】

- ・総合教育センターホームページ「研修」>「各種様式ダウンロード」>「5年経験者研修」を参照してください。
- ・『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（高等学校編）』（令和3年8月国立教育政策研究所）〈国立教育政策研究所のWebページよりダウンロード可〉
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html>
を参照するなど、指導と評価の工夫・改善を図ってください。

【特別支援学校】

- ・「特別支援学校教師のためのサポートブックⅡ」を参考にしてください。
- ・総合教育センターホームページ「研修」>「各種様式ダウンロード」>「5年経験者研修」を参照してください。

（3）教科研修1に向けての学習指導案の提出について

- ・電子ファイルと紙媒体の両方を提出してください。

【電子ファイル】

電子メールに電子ファイルを添付し、下記の提出先に送信してください。

提出期限：**令和7年9月10日（水）必着**

提出先：【E-mail】teaching-p@edu-c.pref.miyagi.jp

宮城県総合教育センター 教職研修班 菅原 宛て

- ※ 電子ファイルはPDF化し、ファイル名に「高5年研_受講番号_学校名_氏名_教科」を記入してください。メールの件名も同様。【例 高5年研_95_みやぎ高校_美田園太郎_国語】

【紙媒体】

教科研修1には次の部数を持参してください。

教科	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	保健体育	農・工・水
印刷必要部数	18	18	8	10	13	18	12
科	商業・情報	家・看・福	美術	音楽	特別支援教育		
印刷必要部数	8	12	4	3	7		

- ※ 教科書のコピー等を添付する際は、著作権の関係で模擬授業終了後に各自で回収することになりますので、別綴じで持参してください。

2 教科研修2（11月）の模擬授業について

- ・模擬授業は、1単位時間のうち20分間を切り取って行います。授業者以外の受講者は、生徒役として学習活動に取り組みます。
- ・模擬授業に使用する機材を所属校から借りて持参する場合は、所属長の許可を必ずとってください。また、持参する機材には模擬授業に不必要なデータは入れないでください。
- ・PC、スクリーン、プロジェクター、HDMIケーブル（1本）のみ総合教育センターのものを使用できます。
- ・タブレット端末を持参する場合は、各自電源アダプターや変換器等を持参してください。県立学校BYODに登録済みのタブレット端末（私物端末）については、ネットワークにつなぐこ

とが可能です。

- ・保健体育の分科会の受講者は、ジャージ、体育館シューズ、タオル等を持参願います。
- ・各時間の授業者、司会者、記録係は、当日配布する受講者名簿で示します。
- ・分科会の参加人数によっては、空き時間が生じる場合があります。その場合は他の分科会の模擬授業を参観してください。

3 その他

- ・11月11日もしくは18日に模擬授業をしてもらいますが、いずれの日で模擬授業を行うかは、9月25日に開催する教科研修1で発表します。

担 当：教職研修班 菅原 TEL：022-784-3558
